

地域	三重県津市	認定日	平成18年10月20日	4 - 18 - 035
事業分類	情報通信	テーマ分類	防災・防犯、検査・計測	

事業名: 無線でのデータ送受信による遠隔操作可能な防犯・防災用等監視システムの製造販売事業

事業概要(新規性、市場性等)

- ・フィールドサーバ(監視カメラ付きポール型超分散計測センサー)と呼ばれるカメラ、温度・湿度センサー等を組み込んだ遠隔操作可能な監視機器システムを企画、製造し、協力企業を通じて学校や農場、鉄道分野への防犯・防災用途等や、生育監視用として販売する事業。
- ・メッシュネット技術(ワイヤレス通信機器同士を「網の目状」の相互補完的に張りめぐらす通信機能)と無線LANを使用することで設置コストを格段に安くでき、またどこでも設置し遠隔操作が可能である。
- ・すでに三重県内の小学校14校への防犯監視システムのモニター導入、(株)ミツカンサンミの大豆圃場への育成監視システム導入等で試売実績あり。教育・防犯分野(学校)におけるニーズが高まっており、対象市場規模は約960億円。その他鉄道等における防犯監視等様々な分野での導入が見込まれる。

事業推進体制

システム施工、メンテナンス
N社

市場先

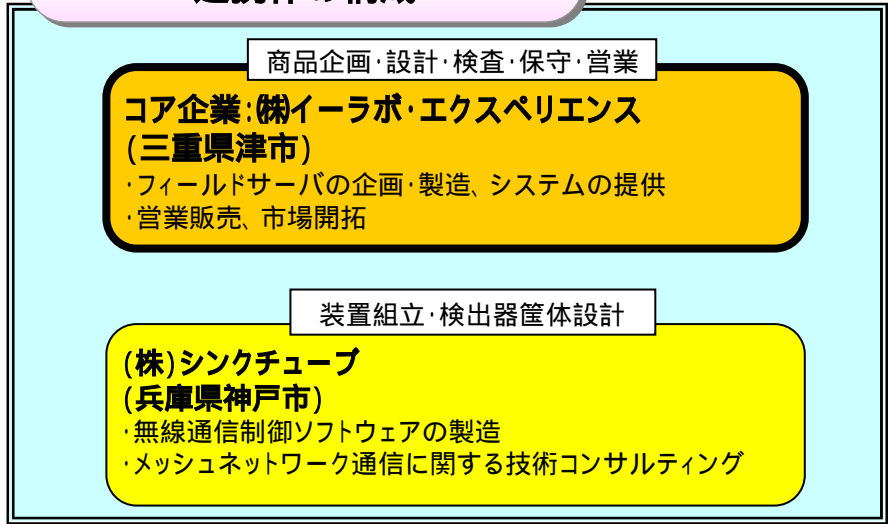
- ・大手電気メーカ等の電設資材ルート
- ・N社による自治体営業ルート
- ・小売大手・食品飲料メーカ等契約圃場ルート

技術協力
三重大学生物資源学部

金融支援
百五銀行本店

支援予定メニュー
補助金

連携体の構成



フィールド・サーバとは
センサーネットの基本デバイス



連携のきっかけ、特徴

- 株式会社イーラボ・エクスペリエンスは三重大との共同研究の成果としてフィールド・サーバーを商品化した。一方、神戸に本拠を持つ株式会社シンクチューブは、メッシュネット技術における国内スペシャリストであり、メッシュネットの活用には不可欠となる特許技術を保有している。
- 両社は、総務省のセンサーネットワーク実証事業にて知り合い、その後、協働作業によりそれぞれが保有する技術を融合したメッシュネットワーク対応型フィールド・サーバーを開発した。
- 次いで、両社は、センサーネットワークに関する調査検討会の委員の委嘱を受け、平成17年3月に京都大学吉田進教授を座長としたセンサーネットワークに関する調査検討(アドホック・マルチホップ通信システムを活用したユビキタスネットワークに関する調査検討)の報告作成を行った。
- さらに、シンクチューブのメッシュネット技術を搭載したフィールド・サーバーは、平成17年11月に、世界のセンサーネット先端研究のシンポジウムである「Sensys2005」(米国サンディエゴでのデモセッション)へ選出され、今回連携認定の基礎となるフィールド・サーバーの展示説明を行った。同シンポジウムでは、画像とセンサー、無線LAN環境を構築する機能が好評であった。
- 平成17年1月より技術開発・研究者向けの限定市場領域にて販売を開始した。

コア企業の会社概要

企業名・代表者	株式会社イーラボ・エクスペリエンス 代表取締役 島村 博	
所在地	三重県津市あのみつ台4-6-1	
創業	平成14年12月16日	
資本金・従業員数	1,000万円	8名
業種	その他電子応用装置製造業	
T E L	059-236-4886	
F A X	059-236-4887	
ホームページ	http://www.elab-experience.com/	
e-mail	h.shimamura@elab-experience.com	

PR等その他の情報